

【 バックナンバー 】

- 2019年9月号「深刻なハラスメント」(佐賀達也・津川剛・那賀智恵美) / 「怒! 年金」(堀口暁子・渡辺博子・菅原章子) / ブラジル政府の年金改悪 / イービス・アショアはいらない (渡部雅子) / 「わが愛」『一粒の麦』を映画に 日本初の女医・荻野吟子の生涯」(山田火砂子)
- 10月号「朝鮮半島の平和プロセスと日本—朝鮮戦争停戦体制からの脱却を」(高林敏之) / 「いま職場は 人員増を今すぐに」(山本乃里子・九後健治) / 「癒しのフィンランド」(鶴澤希伊子) / 『女性白書 2019』紹介 / 「わが愛」 「ネパールのダリット女性の地位向上を」(青木千賀子)
- 11月号「2019年参議院選挙—野党共闘 10区で勝利」(須藤道子・相澤孝子)・「参議院議員選挙をジェンダー視点で読み解く」(杉井静子) / 「いま私〇〇にはまっています」(北澤有希子・田中ジミ子・小島八重子) / 2019 原水爆禁止国民平和大行進—私が歩いた 33 日間」(藤元理津子) / 関東大震災 96 周年 朝鮮人犠牲者追悼式典に参加して」(塚田恵子) / 「わが愛」 「太陽と地球の謎に迫る」(宮原ひろ子)
- 12月号「チェコ周遊 平和・交流の旅」(皆内マサ子・眞鍋章信) / 「安倍政権とメディアの課題 そして表現の不自由」(永田浩三) / 「新婦人協会発足 100 年に 平塚らいてうさんとのお会いをふり返る」(折井美耶子) / 「わが愛」 「ひろしまからちひろへ」(石内都)
- 2020年1月号「暮らしをこわす消費税増税」(内藤照子・森吉秀樹・馬場一郎・木ロカ) / 安倍改憲との対決は今まさに正念場」(小沢隆一) / 新連載「全日自労は私の青春」(松澤悦子) / 「ジェンダー平等社会をめざして声をあげ続ける」(高橋奈夕) / 「わが愛」 「CEDAWダンスを一緒に踊りましょう」(堀口悦子)
- 2・3月号「2020年国際女性デー」 「刑法改正に向けて〜」(角田由紀子)・「ハラスメントの根絶を」(長尾ゆり)・「100年前の『女の元気』を現在にいかす」(米田佐代子) / 「徴用工問題の基本にあるもの」(大森典子) / 「わが愛」 「フラワーデモで広がる女性たちの声」(北原みのり)
- 4月号「日本経済のホントの姿」(山家悠紀夫・田川英信) / 「憲法違反の中東派遣」(吉田健一) / 伊藤詩織さんへの性暴力事件・勝訴判決」(西廣陽子) / 新連載「パリの街かどから」(飛幡祐規) / 「わが愛」 「音標開拓部落と脱走兵との出会い」(高橋三枝子)
- 5月号「雇用によらない働き方」(北健一・菊池和彦・森崎めぐみ) / 韓国の漫画「草」日本語版出版」(関千枝子) / ジェンダー4署名「所得税法第56条の廃止を」(土井淳子) / 新連載「仲間と共に生きている—保健師として、労働運動、地域で」(駒田富枝) / 「わが愛」 「痴漢と言う性暴力」(牧野雅子)
- 6月号「コロナ禍の日本—国民のいのちと暮らしは?」(山本民子・岸本啓介・塚田豊子・藤原麻子・小畑雅子・伊藤希・卯城ひさる) / コロナ危機 世界の女性のたたかい 国際民婦連(WIDF) / ジェンダー4署名「民法・戸籍法の差別的規定の廃止・法改正を」 / 「わが愛」 「在留ベトナム人の『駆け込み寺』—命と人権を守る」(吉永慈豊)
- 7・8月号「コロナ禍の日本(II) 国民のいのちと暮らしは?」(澤田幸子・森田しのぶ・藤原るか・高杉末子・寺内順子・芦田麗子) / ジェンダー4署名「『慰安婦』問題の解決を—『慰安婦』制度は、今日につながる最大の性暴力」(吉川春子) / 「わが愛」 「新型コロナウイルス感染症で失われたもの」(前田佳子)
- 9月号「今、ケアに満ちた政治を求めるとき—コロナ禍が露わにした特権的な無責任」(岡野八代) / 「アメリカ黒人の命を奪う『2つのパンデミック』—新型コロナと人種差別」(矢部武) / 「守谷武子さん(元婦団連会長)を偲ぶ」 / 「わが愛」 「動物視点からみた道徳教材」(渡辺典子)
- 10月号「コロナ禍の教育を考える」(前川喜平・畑屋早苗・折出幸・中野佳代) / 「コロナ禍で公演が中止!」(中川美保・楯岡真弓) / 新連載「女性医師の見た新型コロナウイルス感染症」(前田佳子)・「地球温暖化」(歌川学) / 「わが愛」 「大学って何だろう」(あかたちかこ)
- 11月号「コロナ禍でも進められる『戦争する国』への道—「敵基地攻撃能力保有」の議論と危険な現状」(半田滋)・「木更津が陸上自衛隊オスプレイの一大拠点に」(紙谷敏弘)・「子どもたちを守りたい—米軍ヘリ部品落下事故をうけて」(宮城智子) / 中学校教科書採択」(鈴木敏夫・土志田栄子) / 「わが愛」 「マンガ『100日で崩壊する政権』」(ぼうごなつこ)